

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年10月 4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3472501562
法人名	医療法人社団あんず会本田クリニック
事業所名	グループホーム金泉
所在地	広島県東広島市安芸津町三津4333-1 (電話)0846-46-1080
評価機関名	特定非営利法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年9月28日

## 【情報提供票より】(21年9月2日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成17年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 12 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	15.5

### (2)建物概要

建物構造	RC造り		
	木造	2階建て	1階 ~ 2階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( )	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	(無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり1,200 円		

### (4)利用者の概要(9月 28日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 85.4 歳	最低 68 歳	最高 97 歳		

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	本田クリニック・県立安芸津病院・おの内科クリニック・原田歯科医院
---------	----------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム金泉はJR安芸津駅、商店街、学校、保育園に近い場所に位置し、敷地は広大で当法人のデイサービスセンター金泉、地域交流スペース(相談室)、露天風呂(古くからの造り酒屋の酒造りに使われていた軟水を利用)、畑があり、建物は明るく、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で、入居者と職員の笑顔と会話は、豊かな人間関係を保ち支えあう暮らしとケアがありました。演劇鑑賞、動物園、買い物、散歩等外出支援が積極的に地域の行事に参加し交流され、声かけや、訪問もあり、地域に開かれたホームであり、地域の中でその人らしく暮らせる支援があり、職員の熱意はサービスの向上に活かされていると言える。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	全員で意義を理解し、日々の業務で振り返り、見直し、達成することを確かめ努力されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は入居者の生活に合わせたペースに添えるよう目標をもって取り組まれている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は包括支援センター職員、民生委員、地域の区長、家族、職員の参加で行事計画、行事報告をされる。参加者からの意見を聞きサービスの質の向上に活かされている。運営推進会議の議事録は家族に送付され、玄関で誰でも見ることができるよう、開示されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議で家族の意見、面会の際、要望、意見を聞き、必ず受け止め、運営の改善に努められる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会、商工会に入り、地域の行事に活動可能な限り参加し、交流されている。散歩、買い物の際、挨拶、地域の方からの声かけがあり、立ち寄られ楽しまれている。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員は日々の生活の中で、金泉の理念を全員で具体的に話しあい確認している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	金泉の理念を全員会議で確認し、1年に1回個人目標をつくり職員自身が振り返り、目標を達成する努力がみられる。		
こじんで					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会、商工会に加入し地域の行事、清掃活動に参加され、散歩、買い物など地域の方との挨拶、地域の方からの声かけがあり、地域との交流に努められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の取組み、内容は職員が理解し日々の業務に取り組まれている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の議事録を玄関に開示され、誰でも見ることができる。家族には議事録を送られている。会議の意見は運営に活かされている		

グループホーム金泉

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域の包括会議に2ヶ月に1回参加し、情報を得られている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月手紙で状況を伝えられ、2ヶ月に1回広報誌が送られて、ホームでの日々の様子や行事の写真など詳細に報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会に来られた際、職員と会話する中で、要望や苦情はしっかりと聞き、対応され改善されている。年1回の家族アンケート、運営推進会議で家族の意見を運営の改善につなげるよう努められている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	家族アンケートにあったように職員の定着は入居者が安心して過ごされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月行われる内部研修は研修委員会がアンケートをとり、職員の学びたい事をテーマに勉強会が開かれ真剣に取り組まれている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域でグループホームがない為、同業者との交流はされていない。		同業者との交流や情報交換が出来る事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者、家族の要望をよく聞き、受け止め、安心してもらえる雰囲気づくりに努められている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活の状況を見極め、毎日の生活が穏やかに、楽しく、送れるよう、寄り添うケアがありました。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の暮らしの中で、一人ひとりの思いや希望を把握し、入居者の思いに添えるようコミュニケーションがとれるよう関係を築かれている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ホーム全体でケアのあり方に取り組み、入居者、家族の参加で、入居者本位の介護計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の状況に変化が生じた場合、現状に合わせた必要なサービス変更が行われている。</p>		

グループホーム金泉

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	敷地内のサービスの露天風呂を利用され、入居者は楽しみにされている。通院などの対応も柔軟に支援されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が週1回訪問し往診されている。一人ひとりの状態を把握することができている。入居者独自のかかりつけ医へ受診される場合もある。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の意向、入居者にとってどうあったら良いか主治医、家族と、話し合いグループホームでできるケアについて、説明されている。		グループホームでの終末期ケアの学習をして看取りに向き合おうとされている姿勢が伺える。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報については厳重に管理されている。一人ひとりの尊厳を尊重した言葉使いに気をつけられている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活に合わせ、柔軟に支援されている。(買い物、散歩、畑、露天風呂)		

グループホーム金泉

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の買い物から、食事の準備を職員と一緒に楽しんでされている。週1回のリクエストメニューの献立、買い物も楽しみとされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望の時間に入浴できるよう支援されている。敷地内にある露天風呂に希望されると露天風呂の支援をされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で、その人らしい役割をもって楽しんでおられる。(レクリエーション、歌、話、生け花、料理)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日や、入居者の希望に応じて、散歩、買い物、畑など外出支援がされている。入居者の希望に応じて、買い物の際、お金を使えるように金銭管理の支援もされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵はかけられていない。昼間鍵をかけず自由な暮らしを支援されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の指導のもとに、避難訓練が実施されている。具体的な避難誘導がされている。		スプリンクラーの設置を準備をされている。

グループホーム金泉

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士の献立で作られた食事は入居者の体調、状況に合わせた刻み食、ミキサー食が作られ、バイタルの変化を参考にした食事量、水分量を確認し摂取状況が記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関、食堂、居間には花が飾られ季節感を感じられ、台所からは料理を作る音や匂いが有り生活感を摂り入れられている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭から持ち込まれた、使い慣れた家具、写真、花などが飾られて、馴染みの物が置かれている。</p>		